

# 花乃井だより

学校  
通信

令和2年11月2日(月)  
第39号  
大阪市立花乃井中学校

## 読書週間です!!

11月に入りました。季節は冬に向かっています。風邪などひかないように体調管理に気をつけていきましょう。本日の全校集会は雨天のため放送での集会となりました。まず初めに教育実習生から実習終了のあいさつがあり、次に学校長のあいさつ、生徒会からの連絡と続けました。生徒会は来週から後期の委員にバトンタッチします。前期で役員・委員を務めてくれた皆さん、お疲れさまでした。後期の役員・委員を務めてくれる皆さん、よろしくお願いします。生徒会の活動を記録する「努力の木」に1つ目の花が咲きました。今回報告があった共同募金活動(9,553円)の花です。これから活動が1つ終わるごとに花が咲いていきます。満開になるのが楽しみです。



## 学校長の話より



国語で漢字を覚えたり、数学で計算の仕方を覚えたり…。  
学校ではたくさんのことを勉強して、たくさんのことを覚え

なくてはなりません。しかし、人間の脳は大きさも限られていますので、次から次へと新しいことを覚えるために、一度覚えたことでも時間がたてば忘れるようにできているようです。では、どうしたら「記憶力」を高めること(いつまでも覚えていること)ができるのでしょうか。このこと

については、昔から様々な実験で検証されてきました。

記憶力をテストする前に、あることをしたら記憶力が上がったそうです。次の3つの中でどれだと思いますか。 【① トランプ ② テレビゲーム ③ 読書】

正解は、③の「読書」です。本を読むと脳がよく働くようになって、「記憶力」が高まるのです。本を読むことで、集中力もつきます。数学などで「いろいろなやり方を考えてみよう」という学習がありますが、読書をする習慣が身につけている人は「あんな方法もこんな方法もある」とたくさんの考えが浮かぶようになり、どんどん問題が解けるようになります。いやなことがあるとイライラしますね。そういう時は、読書をする心落ち着いてきます。本を読むと「前頭前野」という脳の前部が強く活性化され、注意力が増し、情緒豊かになります。反対に、テレビゲームを毎日2～7時間する人は、脳の活動状況を示

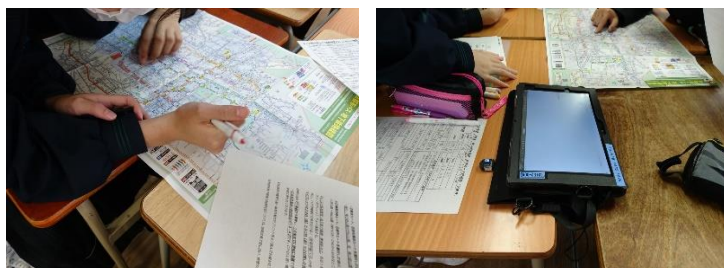
す脳波が前頭前野からほとんど出ていない「ゲーム脳」になります。この前頭前野は感情をコントロールする役割もあり、ゲーム脳では「キレやすい」性格につながる恐れもあるということです。

学生に童話を2分間、読ませた後に記憶力のテストをしたところ、結果が1～2割アップしたといいます。また、学生に「明日の予定を考える」「トランプゲームをする」「本を読む」など、100種類以上の課題に取り組んでもらい、脳が働いている部分を調べたところ、活動範囲が驚くほど広範囲に広がっていたのは「本を読む」ときであり、「明日の予定を考える」ではほとんど変化がなかったとのこと。また、痴呆症のお年寄りでは、おむつが不要になったり、会話がスムーズになったりもしたそうです。

いずれにしても読書は脳の働きにとって効果的なものに間違いありません。また、読書には、今後の自身の人生に大きな影響を与える本に出会ったり、心の支えになる一言を見つけることができるかもしれないという魅力もあります。3年生の皆さんはこれから受験勉強の追い上げに入っていきます。また、1・2年生の皆さんも今月は期末テストがあります。脳を十分に働かせていくために、ふと空いた時間（少しでも時間をつくって）に本を読むようにしましょう。次回の「クラス読書量グラフ」の発表を楽しみにしています。

## 1・2年生の校外学習

11月13日（金）。1年生は神戸市内、2年生は京都市内を班別にそれぞれ計画を立てて回ります。



1年生は「メリケンパーク」のエリアと「布引の滝」のエリアに分かれてそれぞれ班別で巡ります。「メリケンパーク」ではカワサキワールドや神戸タワー・神戸海洋博物館を見学し、「布引の滝」ではロープウェイに乗ったり、新神戸駅の散策なども行います。この時季ですので紅葉が間に合えばいいのですが。タブレット端末なども利用し、班で協力して学習を深めてください。

一方、2年生は京都市内の寺院等を中心に巡ります。清水寺と漢字ミュージアムは必須として、あとは各班で本能寺や平安神宮・壬生寺・北野天満宮・哲学の道など18か所の中から2か所を選択します。京都は1000年の歴史を刻む古都。存分に見学・散策し、大いに学んでほしいものです。また、来年の修学旅行へもつながる取り組みです。班で協力して計画通りの活動ができるように頑張りましょう。